

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	BEAR KIDS		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日	～	2024年 12月 16日
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日	～	2025年 1月 27日
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	LEGOプログラミングを通じた創造力と課題解決力の育成	LEGOの組み立ておよびプログラミング活動を通して、子どもたちの創造力・論理的思考力・達成感を育てています。完成に至るまでの過程を重視し、試行錯誤や工夫を重ねる中で、自己効力感や集中力の向上につなげています。	活動のバリエーションを増やすとともに、子ども自身がテーマ設定や発表まで主体的に関わるプロセスを強化することで、自己決定力と表現力のさらなる向上をめざします。また、スモールステップでの支援や振り返りの時間を導入し、認知的な学びの定着を図ってまいります。
2	ソーシャルスキルトレーニングによる社会性の発達支援	個別および小集団におけるSST（ソーシャルスキルトレーニング）を取り入れ、適切なコミュニケーションや感情の表現、ルール理解を促進しています。活動は楽しみながら学べる構成とし、日常生活に活かせる社会的スキルの獲得をめざしています。	子どもの理解度や特性に応じたSSTプログラムの個別最適化を進めるとともに、家庭や学校と連携した支援内容の共有を強化します。特に、感情コントロールや対人スキルに焦点を当てたテーマ別のSSTを導入し、実生活との結びつきを高めていきます。
3	プレストミーティング（小集団療育）による主体性と協調性の育成	子どもたちが自らの考えを言語化し、他者と共有・受容し合う「プレストミーティング」を定期的実施しています。小集団内での対話を通じて、自己表現力、傾聴姿勢、他者理解といった社会性の基礎を育てる支援を行っています。	ミーティングでの対話を一過性の活動にとどめず、活動後のふりかえりや記録を通じて、思考の整理や言語化の力を深めていきます。また、テーマの工夫やファシリテーションの質向上により、子ども同士の建設的な意見交換の場として定着を図ってまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在の人員体制や運営時間の制約により、長時間の支援ニーズに十分応えきれていない状況がある	現状の運営方針（標準的な放課後利用を前提）と保護者のニーズ（長時間預かり希望）との間にギャップがあるため	長時間支援を希望する保護者には、他の長時間対応型児童発達支援・放課後等デイサービスと連携し、適切な施設を紹介できる体制を整える。あわせて、自事業所内での支援拡充についても検討を続ける
2			
3			